

モニタリング結果報告書

施設 21世紀の森
指定管理者 (株) 足柄グリーンサービス
施設所管課 森林再生課

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月10日	5月17日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
5月	6月10日	6月20日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
6月	7月8日	7月20日	月報・電話・現地で確認、改善すべき業務は無し
7月	8月10日	8月18日	月報・電話で確認、改善すべき業務は無し
8月	9月9日	9月15日	月報・電話・現地で確認、改善すべき業務は無し
9月	10月7日	10月17日	月報・電話・現地で確認、改善すべき業務は無し

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

施設の設置目的を達成・普及振興させるため、親子・子ども向け体験教室等を行う自主事業を実施し、利用増を図る。

<実施状況>

4月	自然観察会（春の山野草観察）①	参加者数	地震の影響のため中止
	自然観察会（春の山野草観察）②		地震の影響のため中止
5月	木工体験教室（マイはしと柿渋染めのはし袋作り）	185名	
	森の工作教室（小鳥を呼ぶ小鳥笛とスパー竹トホ作り）	20名	
	野鳥観察会（春の野鳥観察）	9名	
	自然観察クイズラリー①（森の不思議発見春）	14名	
6月	自然観察会（初夏の森を歩いてみよう）	12名	
7月	手作りクラフト（スリットドラム作り）	18名	
	自然体験ツアー（草むらで昆虫を探そう）①	27名	
	自然体験ツアー（草むらで昆虫を探そう）②	18名	
8月	木工体験教室（県産材祭り）	265名	
	木工体験教室（夏休みの宿題づくり）	431名	
	木工体験教室（マイはしと柿渋染めのはし袋作り）	152名	
9月	手作りクラフト（ドールハウスづくり）	22名	

計 1173名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	28,470 (29,930)	28,470 (29,930)	0 (0)	0 (0)	28,470 (29,930)	0 ()
上(下)半 期予算額	13,782	13,782	0	0	13,782	0
4月	2,159	2,159	0	0	2,201	△42
5月	2,172	2,172	0	0	1,880	292
6月	2,211	2,211	0	0	2,055	156
7月	2,860	2,860	0	0	1,940	920
8月	2,340	2,340	0	0	2,004	336
9月	2,040	2,040	0	0	3,569	△1,529
今年度 半期計	13,782	13,782	0	0	13,652	130
前年度 同期計	15,514	15,514	0	0	14,793	721

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

5万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	146 千円	加圧給水ポンプ修理 146 千円
下半期		
総額		

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	4,230人	6,891人	△38.6%
5月	8,160人	8,091人	0.9%
6月	2,513人	2,924人	△14.1%
7月	4,626人	4,286人	7.9%
8月	7,587人	6,660人	13.9%
9月	3,918人	3,169人	23.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	32,982人	31,034人	32,021人	△5.9%	△3.1%
今年度下半期計	14,918人	人	人	%	%

利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①該当なし

②目標は昨年度より3%程度の増を見込んでいたが、3月の地震の影響により目標を下回ったと思われる。

5 苦情・要望等の状況 ⇒該当なし

受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
月	()	()	()	()	()	()
合計	()	()	()	()	()	()

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月の地震後、節電のためイベント、木材工芸センター等の利用を中止した。 ○ 来園者への配慮を第一としつつ、照明類の間引き、使用機器の見直し等により節電対策に取り組んだ。 ○ 今年度より、7、8月の開館時間を2時間延長し、利用者へのサービス向上を図った。 ○ 初の試みとして、平日にイベントを実施し好評を得たため、来年度も検討したい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月の地震の影響により、4月の来園者数が前年同月に比較し落ち込んだものの、団体の誘致等、積極的に来園者の獲得に努めた結果、8、9月の来園者数が前年度と比較して大きく増加し、上半期の来園者数は前年比96.9%に留まった。 ○ 今後も、魅力的なイベントの開催、学校や企業などの団体に対し、積極的なPR活動を継続していただきたい。